

Title	Fiducia : 女性の化粧を演出する装飾を施した鏡のデザイン
Sub Title	Fiducia : design of decorative mirror to produce a women's makeup
Author	湯澤, 功成(Yuzawa, Katsunari) 奥出, 直人(Okude, Naohito)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	Fiduciaは外出先の照明環境を家で構築することで化粧支援を行う。また、装飾の施された鏡に自分自身を映し出す事によって、より自信を持つことを可能にする。その日の行き先に合わせた照明をアプリケーションを操作することによって簡易的に再現できる。また、規則的な装飾を施した鏡に自分自身を映し出すことで、1つの作品として完成させ、自信を増幅させる。多くの人が所持しているスマートフォンやタブレット端末で扱えるソフトウェアを構築することで、操作方法を簡略化し、化粧に集中できる環境を提供する。化粧は女性にとって自己の表現の一部であり、より魅力的に見られたいという欲求があるからこそ行う。化粧をするのに最適な照明環境をソフトウェアとプロダクトを用いることによって構築し、女性により行き先に合わせて上手く化粧をしてもらい、自信を持つことを提供したいと考える。
Notes	修士学位論文. 2012年度メディアデザイン学 第261号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002012-0261

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2012年度（平成24年度）

Fiducia: 女性の化粧を
演出する装飾を施した鏡のデザイン

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

湯澤 功成

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

湯澤 功成

審査委員：

奥出 直人 教授 (主査)

砂原 秀樹 教授 (副査)

加藤 朗 教授 (副査)

修士論文 2012年度（平成24年度）

Fiducia: 女性の化粧を 演出する装飾を施した鏡のデザイン

論文要旨

Fiducia は外出先の照明環境を家で構築することで化粧支援を行う。また、装飾の施された鏡に自分自身を映し出す事によって、より自信を持つことを可能にする。その日の行き先に合わせた照明をアプリケーションを操作することによって簡易的に再現できる。また、規則的な装飾を施した鏡に自分自身を映し出すことで、1つの作品として完成させ、自信を増幅させる。多くの人が所持しているスマートフォンやタブレット端末で扱えるソフトウェアを構築することで、操作方法を簡略化し、化粧に集中できる環境を提供する。化粧は女性にとって自己の表現の一部であり、より魅力的に見られたいという欲求があるからこそ行う。化粧をするのに最適な照明環境をソフトウェアとプロダクトを用いることによって構築し、女性により行き先に合わせて上手く化粧をしてもらい、自信を持つことを提供したいと考える。

キーワード：

化粧, 照明, アプリケーション, 装飾, 鏡

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

湯澤 功成

Abstract of Master's Thesis of Academic Year 2012

Fiducia: Design of Decorative Mirror to
Produce a Women's Makeup

Summary

Fiducia make up by building illumination environment of the whereabouts in a house, and I support it. In addition, I make it possible to have confidence more by projecting oneself to a given mirror of the decoration. Fiducia can reproduce the illumination that I matched with the destination of the day easily by operating application. In addition, complete it as one work by projecting oneself to the mirror which I made regular decoration on and let you amplify confidence. Fiducia simplify an operation method by building software to be able to treat at a smartphone and the tablet terminal which many people possess and provide the environment that can concentrate on makeup. I perform the makeup simply because there is a desire to want to be seen more attractively partly of the expression of the self for a woman. I build the illumination environment that is most suitable for making up by using software and a product and have I am good in total, and the destination make up by a woman and want to provide that I have you have confidence.

Keywords:

Makeup, Lighting, Application, Decoration, Mirror

Graduate School of Media Design, Keio University

Katsunari Yuzawa